

第4回北区議会定例会 一般質問要旨

地域の歴史・文化・習俗の保護・継承へ



大沢たかし議員の一般質問要旨

平成26年11月25日に開会した第4回北区議会定例会において、大沢たかし議員が次のような質問をおこなった。(要旨)

2020年東京オリンピックに向けて

【質問 大沢議員】 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えて、「トップアスリートのまち・北区」と味の素N T Cのある赤羽西地域を戦略的・効果的に発信していく必要があるが、いかがか。

【答弁 花川区長】 北区ならではの特色ある取り組みを、他自治体にはない地域資源や優位性を活かした取り組みを行ってまいりました。

より一層の創意工夫を図り、話題性と注目度を意識しつつ、報道機関等から、着目されやすい要素を織り交ぜ、シティプロモーションに重点を置いた事業展開を進めてまいります。

無形民俗文化財の保護・継承

【質問】 「稲付の餅つき唄」、「白酒祭り」、「王子田楽」の3つの区指定無形民俗文化財は北区の歴史の一部である。地域への愛着を深めるとともに、誰もが積極的に参加できる周知が必要であり、その保護・継承が地域の絆づくりにつながるような支援が必要ではないか。

【答弁】 地域の歴史・文化・習俗を知るうえでも、また地域への愛着や絆を深めるためにも大切で、その周知と保護・継承は重要であると認識しています。

学校との連携を強め、次代を担う子どもたちへの働きかけについても積極的に取り組んでまいりたいと考えています。



北区無形民俗文化財の稲付の餅つき唄

放置自転車対策と整備

【質問】 北区は駅が多く、駅周辺の放置自転車対策には苦労している。

自転車利用者にはしっかりマナーを守ってもらい、放置しない意識をもってもらえるような周知・啓発が必要と考え、区の見解を問う。

【答弁】 自転車利用者に対して、放置をしないという意識の周知及び啓発について、効果的なPR方法等を検討し粘り強く取り組んでまいります。

【質問】 赤羽駅前地下機械式自転車駐車場の整備について、赤羽西口に400台収容可能な地下機械式自転車駐車場を整備するため、東京との協議はどこまで進んでいるのか。

赤羽駅西口の放置自転車対策の根本的な解決には早急に地下機械式自転車駐車場が必要である。計画の進捗状況について詳細を問う。

【答弁】 東京都とは赤羽駅周辺の状況について理解を深めるとともに整備方法についての協議を継続しております。

赤羽駅西口の地下機械式自転車駐車場の整備においては、駅前広場の利用方法や設置に伴う歩行者、自転車等の動線など、様々な観点を考慮して検討を進めてまいります。

北区地域観光資源を有効活用

【質問】 荒川河川敷と旧岩淵水門を地域観光資源として、より親しまれる場所につくりあげ、周知していくべきだが、区の見解を問う。

【答弁】 区では、荒川河川敷や旧岩淵水門を区内外にその魅力や歴史的意義を発信しています。

今後も、関係機関との連携を図り、観光資源の有効活用を努めてまいります。



通称赤水門と呼ばれる旧岩淵水門

「街を彩るイルミネーション事業」拡大へ

【質問】 「街を彩るイルミネーション事業」は23区で北区だけ実施しており区民も高く評価している。冬の北区名物として事業を一部ではなく拡大して継続し推進する必要があるが、いかがか。

【答弁】 この事業は、商店街の活性化や観光スポットとしての魅力を高め、平成26年度につきましては、赤羽駅等、駅前6ヶ所の駅頭を飾る予定です。



赤羽駅西口のイルミネーション

今後の補助継続につきましては、商店街から要望書が提出されていることを踏まえ、費用対効果の検証などを含め、検討してまいります。